

Vol. 25

2023.December

高知県  
安田町  
故郷便り

Enjoy  
Country Life  
Yasuda Town  
MANMA

# まんま





黒岩之浩会長

対談



中嶋健次室長(事務局長)

町の日本遺産「森林鉄道から日本へのゆずロードへ—ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化—」は、事業者、大学、行政などをはじめ、地域住民と一緒に取り組みが文化庁から評価され、令和5年度に認定継続となり、他の地域のモデルとなる「重点支援地域」に選定されました。

今日は中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会の黒岩之浩会長(安田町長)と、事務局の中嶋健次室長に対談してもらい、今後の取り組みについて伺います。

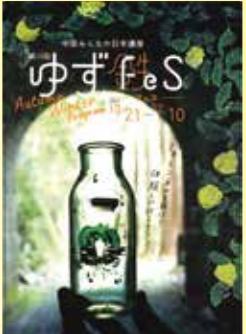
本遺産に関わってもらいたいですね。

黒岩会長

この事業を通して、地域の資源で地域がお金を稼ぐ仕組みを構築したいですね。最終的には地域商社の設立まで必ず達成したいと考えています。これは中嶋室長とも意見が一致しています。

## ゆずFes

中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会の詳しい情報はこちら



## Contents

01 [対談] 中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会  
黒岩之浩会長×中嶋健次室長

03 トピックス 安田の天日塩

05 安田びと

株式会社安田ミネラル会の皆さん

南酒造場 6代目 南知秀さん 農家 竹内幸恵さん  
ピラティス教室主宰 西山香苗さん

11 安田っ子の取り組み

13 自然いっぱいの安田で泊まろう

15 空き家の活用、考えてみませんか

# 日本遺産の重点支援地域に選出! 地域活性化への挑戦が続きます。

対談

中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会  
黒岩之浩会長×中嶋健次室長(事務局長)

地域商社の設立まで視野に入れて  
ーこれから取り組みを教えてください。

中嶋室長 これまで築き上げた基礎をもとに、拠点施設や観光案内表示などのハード面と、来て楽しめて地域にお金を落としてもらう体験型のコンテンツづくりなどのソフト面の環境整備を進めたいです。また、これまで造成した旅行商品の販売促進や、インパウンドを含めた観光客誘致のためにも情報発信をどんどんしていく必要があると思います。

ー中芸の日本遺産が認定継続と同時に重点支援地域に選出されま

本遺産協議会の黒岩之浩会長(安田町長)と、事務局の中嶋健次室長に対談してもらい、今後の取り組みについて伺います。

町の日本遺産「森林鉄道から日本へのゆずロードへ—ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化—」は、事業者、大学、行政などをはじめ、地域住民と一緒に取り組みが文化庁から評価され、令和5年度に認定継続となり、他の地域のモデルとなる「重点支援地域」に選定されました。

平成29年度に認定された中芸5

黒岩会長 はじめの認定から6年間、ゆずFesの継続開催、日本遺産を巡る旅行商品の造成やガイド人材の育成、「ゆずロードミュージアム」の開設など、地域の活性化に取り組んできた成果と考えています。

また、マーケティング視点での戦略やターゲットの絞り込みなど、マンパワーや財政規模が限られている中で、日本遺産を中心とした地域づくりのモデルになる「地域活性化計画」も文化庁から高く評価されたのだと思います。

ー中嶋さんは全国公募を経て令和5年4月から室長になりました。

中嶋室長 農林水産省で働いていましたが、平成31年から3年間は馬路村に出身で来ていて親近感がありました。私は子どもの頃から鉄道

した。

が好きでしたが、特に廃線跡を歩くのが好きで、森林鉄道跡も歩いていました。だから移住や仕事にいい機会を与えていただきました。

黒岩会長 令和4年度から安田町地域創生課内に日本遺産推進室を設けました。当時の室長は地域創生課長が兼務していましたが、認定継続後の取り組みをより充実させるために、とてもいい人材に手をあげていただきました。



「ゆずロードミュージアム」のジオラマ前で撮影した黒岩之浩会長と中嶋健次室長。

安田の天日塩

# 完全天日塩づくりの修業をしていたご夫婦が 安田町で創業しました。

安田町唐浜に結晶ハウスなど施設を整備し  
令和5年8月に創業式を行つた  
小坂英晃さん、千里さんに話を伺いました。

## 安田川の恵みが塩に凝縮

埼玉県で公務員をしていた二人  
が、ある日、「田野屋塩二郎」とこと佐  
藤京二郎さんが出演しているテレビ  
番組を見て衝撃を受けます。そして  
「自分たち夫婦も人生をかけて完全  
天日塩をつくりたい」と考え、令和2  
年4月に弟子入り。新婚生活が修行  
という特殊な環境の中で、3年間1



完全天日塩「小粒」・「大粒」(100g/800円)は輝るぼーと安田 土佐の元気市、ネットショップなどで販売しています。

日の休みも取らず、1時間に一度攪拌(塩を混ぜる)作業をしていたそ  
うです。そして塩づくりの奥深さや  
「独立」を考えて全国各地の海岸線を  
回りましたが、最適だったのが隣町  
の安田町だつたんです。山のミネラル  
を豊富に含んだ水を安田川が運ん  
でくれているため、安田町の海は、生  
態系が豊かな海域となっています。

そのため様々なミネラル、珪藻類等  
が多分に含まれ、それが味わい深い塩  
になります。綺麗で栄養満点の海水  
と、豊富な日照量があるため、私たち  
の理想とする塩がつくれています」と、  
「一人は胸を張ります。夏場でも3  
ヶ月以上かけて育てあげています。

## 塩と向き合つて暮らす日々

創業式には師匠である佐藤さんか  
ら、「田野屋紫蘭」(英晃さん)、「田野  
屋白兎」(千里さん)の屋号を授けられ  
た二人。これから目標を聞くと  
「安田町の完全天日塩として全国に  
知られるようになっていきたいです」と  
話します。すでに全国のレストラン、  
が感じられました。

料理人からオーダーメイドの注文を  
受けているそう。素材の味を最大限  
に生かせるよう野菜や卵料理、おに  
ぎりなどに合う「小粒(万能)」と、肉  
や赤身魚などに合う「大粒(コクと余  
韻)」の2種類が、「輝るぼーと安田・  
土佐の元気市」「味工房じねん」「安  
田川アユおどる清流キャンプ場」と、  
「田野屋紫蘭」のHPで販売されてい  
ます。今後、順次販路を拡大していく  
予定です。

「安田町の山、川、海が育んだ海水と、  
天日のみでつくった故郷の完全天日  
塩を味わっていただければ幸いです」  
というご夫婦からは、これらの安田  
町を代表する特産品にしていく覚悟

田野屋紫蘭HP



田野屋紫蘭  
住所／安田町大字唐浜267番地1  
TEL.0887-38-8722



# 安田ミネラル会の皆さん

# 安田町産の ナスを関東圏へ

今から13年前となる平成22年  
生産者の未来を託して

法人を立ち上げ  
生産者の顔が見える

安全なナスを出荷しています。



生産地や生産者の顔が見えるために  
努力を惜しまないグループ

安田町東島地区を中心とするナス生産者さんは、それぞれ出荷組合などに出荷していましたが、関連事業者からの紹介もあり、新しい挑戦をしようと6人のメンバーで株式会社安田ミネラル会（井上章夫代表・写真右から2人目）を設立。大手量販店のイトーヨーカドーをはじめとするグループ企業との取引がスタートしました。ミネラル会を引っ張るのは立ち上げメンバーでもある有岡只祐さん（写真右端）。当時を振り返ってもらうと、「まず生産地や生産者の顔が見えます」と、**「まず生産地や生産者の顔が見えるために努力を惜しまないグループ」**



株式会社安田ミネラル会  
住所／安田町大字西島74番地9  
TEL.0887-38-5202

見えるナスであること、それが安心を与えます。そして安全であること。土壤診断を行い必要に応じて成分を加えて化学肥料を従来の三分の一に抑えました。また天敵となる昆虫・ダニ類を使って害虫を防除する「天敵農業」も積極的に活用して、農薬の使用を軽減しました。オーガニックまで進むのはなかなか難しいですが、可能な限り安心安全な取り組みをスタートしました」と話します。メンバーは現在15人まで増え、それぞれのハウスでナスを育てているため、定期的に集まり育成状況を見ながら、出荷できるレベルを確認しあっています。この品質管理があるからこそ仕入れ先からの信用を

得られ、ブランドへと成長します。「20代の若者から70代のベテラン農家までいて、もっとメンバーを増やしたいんですが、品質を守りながらという点もあるので、そう簡単にはいかないですね」と有岡さんは苦笑します。それでもメンバーが増えていることは、それだけ成果をあげてきた証でもあります。

## ナス農家としての自信が伝わった

ます。また核家族化が進む大都市圏のスーパーでは3本入りのナスが主流になり、セブンイレブンでは2本入りにしているそうです。「取引先が望むリクエストには100%応えたいです。それがメンバーの向上心になります。それがメンバーの向上心になります。彼らは止まつたらダメなんですが、おのずと品質も上がっていきます。僕たちは止まつたらダメなんですよ」と強い思いを持っています。

井上代表をはじめ、ミネラル会の

皆さんの表情はどこか明るく、ナス農家としての自信が垣間見えます。この活動 자체が、関東圏における安田町の知名度アップにつながっています。

この安心安全な取り組みは、都会の消費者の方が敏感で、手紙やメール等でリアルな感想が届き、それをメンバーが共有することで、皆のモチベーションアップにもつながっています。

## 南 知秀さん 竹内 幸恵さん

農家

このお酒には背景が見えてくる



南酒造場6代目 南 知秀さん

# 安田産のお米で 純米大吟醸を

安田の蔵元、南酒造場が旗振り役となって  
中山地区のお米、安田川の伏流水を使った  
オール安田のお酒づくりが始まりました。



南酒造場の6代目、南知秀さんは以前から安田町産のお米を使つたお酒をつくりたいと、生産してくれる農家を見つけることや、令和4年には四十町窪川で杜氏自らが育てた飯米「たちはるか」を使つてお酒の試作に取り組むなど、準備を続けてきました。「すべてが安田町のものでつくれれる。それに意味があると思います」と強い決意をする南さん。そして地元農家さ

田町のものでつくれれる。それに意味があると思います」と強い決意をする南さん。そして地元農家さ



田町のものでつくれれる。それに意味があると思います」と強い決意をする南さん。そして地元農家さ

んの協力を得ることもでき、令和5年11月から純米大吟醸の仕込みを始めました。

「精米歩合を40%にする純米大吟醸を選びました。これはより多くのお米を使うことになるからです。それだけ農家さんの収入につながればと思います。安田町内も田んぼの放棄地が増えているので、それを少しでも防ぎたいし、地域に貢献できればと思っています」と話します。

購入していただき、安田の味を実感してほしいですね」と期待を込め話しました。

## 地域貢献につながれば

南さんからの要望に応えたのが、竹内幸恵さんです。春に成長した苗を購入し田植えをすることが一般的です。しかし今回の竹内さんは種もみを発芽させ、苗を温室に入れて成長させるなど、すべて手作業で「たちはるか」の苗を準備しました。そして田植え、10月の稻刈りとなりました。

令和5年は一升瓶換算で約1,200本の生産を予定。次年度以降も農家さんとの協力関係をはじめ、この取り組みがうまくいけば、生産量を拡大していくそうです。南さんは「うちの酒蔵は明治2年からはじまり、150余年の歴史があります。昔はおそらく地元のお米を使って酒造りをしていたと思うので、それに戻るのは自然な流れのような気がします」と言いました。



竹内幸恵さんは、「清流・安田川の水を使ってお米をつくり、それが美味しいお酒になれば、安田町の宣伝になるし本当に嬉しい限りです。安田町出身の方にも興味を持つてもらい、ちょっと飲んでみようかともうい、ちょっと飲んでみようかともうい、ちょっと飲んでみようかともうい」となりました。

農家 竹内 幸恵さん

南さんからの要望に応えたのが、竹内幸恵さんです。春に成長した苗を購入し田植えをすることが一般的です。しかし今回の竹内さんは種もみを発芽させ、苗を温室に入れて成長させるなど、すべて手作業で「たちはるか」の苗を準備しました。そして田植え、10月の稻刈りとなりました。

令和5年は一升瓶換算で約1,200本の生産を予定。次年度以降も農家さんとの協力関係をはじめ、この取り組みがうまくいけば、生産量を拡大していくそうです。南さんは「うちの酒蔵は明治2年からはじまり、150余年の歴史があります。昔はおそらく地元のお米を使って酒造りをしていたと思うので、それに戻るのは自然な流れのような気がします」と言いました。



有限会社 南酒造場

住所／安田町大字安田1875番地

TEL.0887-38-6811

## 西山 香苗さん

# ピラティスで 地域の人たちを笑顔に

ドイツが発祥のエクササイズ、ピラティス。

安田や県東部を中心に個人やグループレッスンをして、若者から高齢者までの健康づくりに取り組んでいます。

「東京など都会から遊びに来た友人らが、太平洋や安田川を見て『これが日常っていうのが本当に贅沢だよ』とよく言われます。そんな気持ちで毎日を過ごしています(笑)」と、安田の魅力を表現してくれました。

**会話を楽しみ体も動かし続ける  
そんな優しいエクササイズ**

「元々はドイツでリハビリを目的として開発され、発展したのがピラティスなので、呼吸を整え、ゆっくりと体を動かすことで、高齢者からスポーツ選手まで年齢や経験を問わず、幅広い世代が行うことができます。

村の6カ所で定期的にグループレッスンを行っています。また、市町村の健康教室やママ向けサークルからの依頼などもあります。

平成29年には月に1、2度のペースで東京に通い、専用マシンを使う「マシンピラティス」のインストラクター資格を得て、マシンを自宅に設置しています。グループレッスンではマット、マシンはマンツーマンでの個人対応です。

安田をはじめ県東部の人たちにピラティス教室を通して、コミュニティの場と健康を届ける西山さん。「この記事を読んで、ピラティスが気になっている方、ピラティスを知らないう人に届いたら嬉しいです」と



香川県出身の西山香苗さんがピラティス教室に通いだしたのは20代の頃。体験してみて「これからピラティスを必要とする人が必ず多くなる」と、会社員として働きながらインストラクターの資格を取得し、教室でレッスンを受け持つほどに。平成22年に縁があつて安田町在住の男性に嫁ぎます。

## 健康づくりの場をつくる女性

翌年には安芸市の地域総合型スポーツクラブから声がかかり、生徒2名からスタートしたそうです。今では地元の安田地区、中山地区をはじめ、室戸市、安芸市、田野町、馬路



笑顔で話してくれました。彼女の活動がさらに広がることを期待しています。

## ポケットオーケストラ

10月3日(火)、安田町文化センターで安田小学校・中学校の児童、生徒が10数名編成のオーケストラコンサートを鑑賞しました。「剣の舞」や「カルメン」、「くるみ割り人形」など馴染みのある曲や、両校の校歌演奏、指揮者体験、それぞれの楽器紹介では会場が笑顔に包まれました。



後半はジブリメドレー、スクリーンミュージックメドレーと続き、最後は「シング・シング・シング」で手拍子が鳴りやまないコンサートになりました。

安田中学校の生徒会長、安岡穂乃夏さんは、「これまでテレビでしかオーケストラを見たことがなく、はじめて



生演奏を聴いて、とても迫力がありました。弾いている演奏者の方の姿も美しくて、見ても、聴いても楽しめました。私も楽器に挑戦してみようかなという気持ちになりました」と話してくれました。鑑賞を終えて学校へ帰る際も、安田っ子の表情は輝いていました。

生徒会長 安岡穂乃夏さん



みんな笑顔で  
キラキラ!

安田っ子  
の取り組み

子どもたちが健やかに育つ環境づくりをしている安田町。この秋はオーケストラコンサート鑑賞や人形劇、相撲大会などさまざまな体験をしました。



## 人形劇団ブーク公演

11月10日(金)、人形劇「みにみに劇場 vol.1五味太郎」と「こぎつねコンとこだぬきポン」が上演され、安田さくら園の4・5歳児と、安田小学校1年生から3年生までが参加しました。かわいらしい人形たちのユニークな動きに、子どもたちからは笑い声が聞こえていました。

(主催／安田町教育委員会)



## 安田町子ども相撲神峯大会



10月28日(土)、神峯神社の秋祭りに合わせて行われている相撲大会に安田小学校1年生から6年生までの児童34人が出場。200人以上の観客が見守る中、団体戦と個人戦が行われました。

大会に向けて学校で練習してきた子どもたちが、力いっぱいぶつかり合ったり、相手を投げ飛ばしたりすると、会場からは大きな声援と拍手が送られていました。

(主催／安田町子ども会連絡協議会)



自然いっぱいの  
安田で泊まろう

キャンプ場、一棟貸しの宿など  
家族で楽しめる宿泊施設をご紹介。



## いなかじかん

築100年以上の古民家で過ごす

国道55号から安田川に沿って北に6km。令和2年5月に店主の有澤あゆみさんがオープンしたアロマサロンや、カフェ・食事が楽しめる「いなかじかん」は、令和5年8月に一日一組、一棟貸しました。祖父母から受け継いだ築100年以上の古民家をリノベーションしています。小さいお子さんがいるご家族連れにとっては、子どもが自由に走ったり、庭ではバーベキューや花火ができるなど、おばあちゃんの家の泊まりに来た雰囲気で過ごせます。この施設にいる川の音がずっと聞こえます。私たちも地元なので気にならないのですが、鳥の鳴き声もそうですし、自然の音が耳に入ってきて癒されます」と有澤さん。



住所／安田町大字正弘731番地  
TEL 0887-39-2088  
定休日／火曜・水曜



SNSでの発信や、ご縁のある方からの紹介でゆっくり広がっている民宿は、1名から6名までのご利用で、力フェ業日(日曜・月曜)には朝食の準備ができます。

**安田川や満天の星空とともに**  
山々をぬって流れるダムのない清流・安田川。そこで小さいお子さんから大人まで川遊びが楽しめるキャンプ場は、魚が泳いでいる姿や川底がはつきり見えるほど透明感があると利用者から好評で、この環境に惹かれてリピーターになる人が多くいます。  
キャンプ場を管理する鶴丸貴敏さんは、「キャンプを始めたばかりの家族連れや、昔していたシニア世代、女性ひとりのキャンパーも多いですが、皆さん草木や芝の管理、清掃が行き届いた心地良さを評価してくれます」と話します。  
35のテントサイトと5棟のロフト付きキャビン・ペットファースイト、バイクフ

リーサイトや、ドッグラン、ツリーハウス、シャワー、家族風呂など施設が充実。管理棟では大手キャンプ用品メーカー・コールマンの各種アイテムが揃い、手ぶらで来ても大丈夫なように、キャンプセット一式のレンタルもできます。おすすめは清流安田川の天然鮎(冷凍販売)です。



住所／安田町大字船倉500番地  
TEL 0887-30-1960(予約センター)  
定休日／火曜・水曜  
金額等詳しい内容はHPから



第27番札所神峯寺登山口にある宿  
民宿とうの浜  
住所／安田町大字唐浜2374番地  
TEL 0887-38-8827  
金額等詳しい内容はHPから



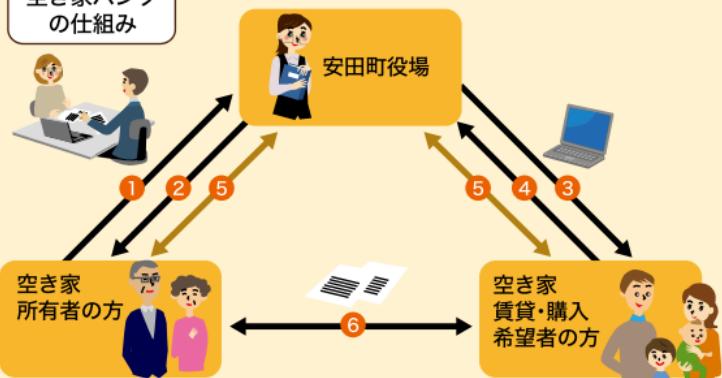
安田町では、移住・定住促進を目的とした支援制度を設けています



# 空き家の活用、考えてみませんか

～空き家バンクの紹介～

## 空き家バンクの仕組み



- ① 空き家情報の提供・相談対応
- ② 現地を確認し、空き家バンクへ登録
- ③ 町HP等へ掲載、移住者・希望者への情報提供を実施
- ④ 賃貸・購入希望者の方からの問い合わせ・相談対応
- ⑤ (所有者の方、賃貸・購入希望者の方との)連絡調整
- ⑥ 当事者間や不動産業者を介した交渉・契約の実施

安田町では、空き家利用希望者と空き家所有者をつなぐ

空き家バンク制度を運営しています。

空き家の活用は、地域の活性化にもつながります。

まずは下記問い合わせ窓口に気軽にご相談ください。

その他、移住者の方を対象とした支援策もあります。

## U・Iターン希望者住居改修費等補助金

U・Iターン希望者や移住希望者の受け入れ住宅の改修費用(畳やふすまの入れ替え、簡易修繕など)及び荷物整理等に要する経費を補助(最大100万円)します。

## 移住支援金制度(東京圏からのU・Iターンが対象)

対象となる地域から安田町へ移住し、対象求人に就職等をした方に対して、最大100万円(世帯)を支援します。(単身は最大60万円。R5年4月より18歳未満の世帯員1人につき、最大100万円を加算)

### 問い合わせ先

安田町地域創生課

TEL:0887-38-6713



安田町HP  
(移住情報)

又は

安田町 移住情報

検索



## 安田町役場 地域創生課

〒781-6421

高知県安芸郡安田町大字安田1850番地

TEL0887-38-6713 FAX0887-38-6723

E-mail sousei@town.kochi-yasuda.lg.jp

ホームページ <https://www.town.yasuda.kochi.jp/>

